

## 点検及び評価に係る学識経験者の意見について

福山市教育委員会が実施した「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」について、教育に関し学識経験を有する者から、次のとおり意見を聴取した。

### 【学識経験者】

名 前	役職等
吉川 信政	福山市北部市民大学学長
渋谷 清	福山市立大学教育学部長兼教育学研究科長
道城 俊二	福山市PTA 連合会会長

(五十音順)

### 【意見の要旨】

(点検及び評価全般に係る意見)

- ◇ 全体的に基本目標に向かって着実に推進していると感じた。

(学校教育に係る主な意見)

- ◇ 主体的な学びについて、教育委員会でめざしていることが学校に伝わっているのかが気になる。主体的な学びに取り組みはじめたのは、ここ数年であり、学校では戸惑いもあるようだ。

主体的な学びを進めるには、先生の深い理解と見識が必要なため、より一層勉強しなければならないが、保護者への対応などで時間を取られるということも聞くので、学校の組織を整え、事務の簡素化など、教職員の働き方改革を進めてほしい。

- ◇ 教職員の働き方改革を進める中で、これまであたりまえに行ってきたことを整理する必要があるが、学校の対応に早い遅いの違いがあるのが普通であるので、それぞれの学校が発想の転換をするために、成功した学校の事例を多く持つことが大切だと思う。
- ◇ 主体的な学びは、先生に力がないとできないと思う。研修をしているので安心しているが、なかなか教える授業から変わりにくい先生への対応についても取り組んでほしい。
- ◇ スマホなどネットで情報を得るのが当たり前という子どもたちが小学校に入学してきている。情報は知っているが、実際の肌感覚は知らない子どもたちに、授業の中でそれのように伝えていくのが大切だと思う。
- ◇ 実体験や実感は、スマホなどで代わりができるようになってきているので、子どもたちは、余計に自分で実物に触れたり、見たりすることが大切になってくる。多少強引でも、美術鑑賞などの機会を作ることが必要だと思う。
- ◇ 夏の暑さが昔とは変わってきており、運動部の大会時期をずらすなど配慮する必要があると思われる。

(生涯学習・社会教育に係る主な意見)

- ◇ 公民館は、空きがないくらい常に使用されており、公民館だよりは社会教育関係で一番読まれている。公民館だよりでイベント情報を知ることができ、宣伝効果がある。公民館利用

者数が指標の目標値に届いていないため、評価が「やや遅れ」とされているが、よく頑張っていると思う。

(文化財に係る主な意見)

- ◇ 文化財は、保存とともに、後世に継承することが非常に重要であると思われるので、文化財に詳しい人の力を借りることや、教育の中で、子どもたちに文化財を身近に感じてもらう、知ってもらう取組が必要と感じる。
- ◇ ふくやま美術館に全国的に見ても貴重な刀剣が寄贈され、福山が誇れる文化財であると思う。その他にも、全国的・世界的に誇れるコレクションがあるので、子どもたちが早い段階で見たり、知ったりする機会を持てるような取組につなげてほしい。
- ◇ 姫谷焼は、研究や発掘を進めれば、新たな姫谷焼が見つかるのではないか。非常に大切な意味を持っていると思う。